

第3号

発行責任者
幕張ベイタウン協議会
www.bt-machi.com

幕張ベイタウン 協議会

NEWS

ゴミ問題

「住民負担」納得できない

企業庁・千葉市に意見書

幕張ベイタウンのゴミ空気輸送システムの赤字を埋めるために千葉県企業庁が住民負担を求めている問題に対応し、幕張ベイタウン協議会は各街区管理組合理事長らが参加する第3回検討会を5月12日に開催。住民負担を求める企業庁の論理は納得できないとする意見書をまとめ、6月6日に千葉県企業庁と千葉市に提出しました。

幕張ベイタウンを開発した千葉県企業庁は、県方針によって開発事業主体としての役割を終え、これまで整備した公共施設を千葉市に移管する作業を進めています。一方、

ゴミ空気輸送システムは年間約9千万円の赤字経営が続き、千葉市は「経営の厳しいままでの移管受け入れは困難」と主張。こうした中、2012年9月に千葉県企業庁は、

ゴミシステムの運営に住民負担を求める提案を表明、「赤字分をベイタウンの世帯数（約8100世帯）で割ると1世帯当たり月950円程度」と説明しました。

幕張ベイタウン協議会は、各街区管理組合理事長等の参加の下に検討会



住民はすでに、各街区のゴミ投入口などの設置費や維持費を負担しているのだが...

幕張ベイタウン協議会は7月20日、第4回総会をコアで開催しました。総会には協議会会員、オブザーバー参加者ら約33人が参加。2012年度の活動報告に続いて、13年度の活動計画、役員選任などの議案が承認されました。

第4回総会を開催

事業委員会などの設置承認

づくりのための研修会やシンポジウムの概要、住民アンケートの実施などが報告されました。円卓会議は、住民がまちづくりを考える場で、協議会を中心としたベイタウンの団体と、千葉市・NPO法人などで構成。今年度は市の助成を活用した「幕張ベイタウン連携会議」となり、引き続きまちの課題を議論します。

を2回開催しました。裏面①に続く

ご意見募集!

ホームページに詳細情報

幕張ベイタウン協議会は、ベイタウンの住民、就業者、資産保有者の皆さんの意見を幅広く集め、まとめ、千葉県、千葉市、住宅事業者などに伝える組織として、2011年6月に誕生しました。ホームページ (www.bt-machi.com/) に詳しい情報を掲載しています。また、皆様のご意見をお待ちしています。ご意見はbt-machi@yahoo groups.jpまで。

今年度の活動計画としては、地域の課題に積極的に取り組むために協議会の法人化を検討する「事業委員会」、ベイタウンの景観の維持再生の仕組みを検討する「景観委員会」、ゴミシステムに係る住民負担問題を協議する「ゴミ問題委員会」、広報活動を行う「広報委員会」、千葉市からの受託事業を担当する「市政だより配付実行委員会」、まちづくりに関わる各団体の活動拠点を運営する「幕張ベイタウン地域連携センター運営会議」の設置などが承認されました。裏面②に続く

赤字の原因は企業庁の見込み違い

住民、すでに地代として年11億円負担

＝表面から続く①

そこでの議論を踏まえ、千葉県企業庁及び千葉市に対し質問書提出等の対応を続けてきました。さらに、千葉県企業庁等から再度の回答。今年3月21日付が、あったことを受けて開催した第3回検討会には、分譲住宅30街区中19街区の管理組合・自治会が参加しました。同検討会を受けて取りまとめた「意見書」の主なポイントは以下のとおりです。

▼「ゴミ空気輸送システムの運営当初からの赤字は、幕張新都心業務地区

の事業系「ゴミ」に係る手数料収入の見込み違いにより生じたものであり、見込み違いをした千葉県企業庁の責任が明らかになつていない

▼私たちベイタウンの住民は、千葉県企業庁に対し、住宅を購入した住宅事業者を通じて借地権取得費を支払い（一部街区では土地購入費として支払い）、入居後も年間約11億円の地代を払い続けており、実質的に公共施設整備費を含むベイタウンの開発費を負担している

▼各街区に帰属する「

意見書ポイント

- ゴミ空気輸送の赤字は、事業系ゴミ手数料収入の見込み違いが原因。見込み違いをした企業庁の責任が不明瞭
- 住民は年約11億円の地代を払い、公共施設整備費を含むベイタウンの開発費を負担
- 住民は各街区のゴミ投入口などローカル施設の整備費を住宅購入時に負担。日常の維持管理費や修繕費も負担
- 以上の理由から、企業庁の説明である「ゴミ空気輸送システムの維持管理に新たな住民負担を求める論理」には納得できない

ミ投入口等のローカル施設についても、その整備費を住宅購入の中で負担しているほか、日常の維持管理費及び修繕費を負担している

▼以上の理由等から、千葉県企業庁が説明する「ゴミ空気輸送システムの維持管理に新たな住民負担を求める論理」には納得できない

私たちが幕張ベイタウンの住民は、千葉県企業庁に対し、地代などを払うことで実質的にベイタウンの土地造成費や公共施設整備費、維持管理費等を負担しています。

ベイタウンの開発費用を負担している立場からも、私たちがこの街の運営に積極的に関わっていきたくて、各街区の自治会や管理組合、商店会等の地元団体の参加を得て、2011年6月に幕張ベイタウン協議会を設立します。つくり取り組んでいます。

今後とも、「ゴミ問題」に関して新たな動きがありましたら、引き続き情報

ゴミ問題、これまでの経緯

- ▼12年9月 千葉県企業庁が説明会。住民負担の導入を説明
- ▼10月 管理組合理事長ら参加の第1回検討会開催
- ▼11月 企業庁・千葉市に「質問書」提出
- ▼12月 「質問書」に企業庁・千葉市が回答
- ▼13年1月 第2回検討会を開催
- ▼同月 「意見及び再質問」を提出。
- ▼3月 「意見及び再質問」に企業庁・千葉市が再回答
- ▼同月 第3回検討会を開催
- ▼6月 企業庁・千葉市に「意見書」提出

編集後記

提供させていただき、ご不明な点がありましたら、協議会事務局までお願いいたします。

ベイタウンに移り住む前、米国サンディエゴと豪州のシドニーに住んだことがあり、美しいとされる都市。シドニーも住みやすい街番付の上位を占めることでした。しかし、ベイタウンも決して負

第4回総会開催

住民と一体確認

＝表面から続く②

さらに、「ゴミシステム」の住民負担問題の現状、幕張ベイタウン地域連携センター設置に向けた千葉市との協議の進捗状況なども報告されました。

最後に、幕張ベイタウン協議会として、住民の方々と一体となって、ベイタウンのまちづくりを積極的に取り組んでいくことが確認されました。

組織の一つがベイタウン協議会。そして、協議会の活動を住民の皆さんにお伝えするのが、幕張ベイタウン協議会NEWSです。今後ともよろしくお願ひいたします。(〇)